

月刊 千葉動力労働組合

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989.8.18 No. 3072

動労千葉結成10周年!

JRは清算事業団の仲間を ただちに原職採用しろ!

「連日の奮闘御苦労さまです。「地労委」も山場をむかえました。皆さんの近況なりについて一言。

林氏 今、全体の雰囲気は活性化しています。全国各地の地労委の勝利命令も出ているし、四人の証言も堂々とやりきったという事で全員の気持が充実している。

しかし、問題は、地労委命令後いかに決戦的闘いをつくるかということもあり、緊張感も高まっています。

林氏 当局の「対応はどうですか。それへの皆さんの態度について……。

当局は月一回、職業相談というか再就職斡旋と称して企業を紹介するなどしている。しかし、われわれは当初から原職に復帰させると主張しているし、そのことについては全員が一貫している。何故俺たちを「収容所」に詰めこみ、差別するのか、その理由すら説明しない当局に怒りが募るばかりです。

全国の「事業団」の仲間との「交流」を迫及しているところがいますが、いくつか紹介してください。

林氏 全国三〇〇〇名の仲間との連帯は「四・一 体制」を突き崩すためにも重要課題と認識しています。物理的になかなか直接交流とならないうのですが、檄布を送ったり、東京の仲間とは月一回は連絡をとり

清算事業団支部 林支部長に聞く



強く思う。「離れ」て見ていると、動労千葉の仲間意識の強さというか優位性がよくわかります。わたしたちも決戦の先頭で闘います。この闘いを全体化するため皆さんで頑張ってくださいと思います。

ありますが、それ以上に家族のこと、特に子供の関係というか、進学問題などで悩みや不安もあります。しかし、当局や革マルのあまりにも非人間的やり方への怒りの方が大きい。わたしたち全員、三

あい交流を深めています。今後、いっそう精力的にとりくみたいと思います。

林氏 いわゆるJR内で奮闘している組合員に一言。強制配転や、日常的しめつけに負けずによく頑張っているなあ、と見ている。本当に心

又、銚子支部をはじめ、各支部から激励に来てくれていますが、本当にありがたいと思っています。

林氏 最後に、今後の決意などありましたら一言。わたしは「収容所」ぐらしとい、こと自分たちのことであ

年間闘ってきたし、原職を必ず取り戻す決意でいっぱいです。

被解雇者二八名の奪還、分割・民営化体制をうち破るためにも負けられません。頑張ります。

本日はどうもありがとうございました。



8,21(月) 18c
千葉市よしかわ葭川公園 ☆
(千葉駅より徒歩5分・バス10分)

清算事業団闘争勝利
総決起集会

全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年!